「Diginnos パソコン」内部の作業をする場合

- 内部電子部品の破損を防ぐため、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いて20秒以上たってから作業を行ってください。
- ケースの角や内部の尖ったところ等でけがをしないよう、必ず防護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 電源を切った直後はパソコン内部に高温になっているパーツがあるため、作業は内部の温度が下がるまで時間を置いてください。（15～30分）
- 内部電子部品の破損を防ぐため、ケースなどの金属部分に手を触れて、静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- 金属の接点部分には触れないようにしてください。皮脂等が付着することにより、接触不良の原因となります。
- 作業中は電子部品を破損しないよう、注意して作業を行ってください。どんなに小さな部品でも破損すると作動しません。
- 一度に複数の増設は行わず、一つずつ行ってください。

Diginnosパソコンの保証について

Diginnosパソコンの保証は、通常・延長保証あるいはパソコン保険加入に関わらずご購入時の構成であることを原則としております。お客様側で内部構成の変更をされた状態では弊社保証、及び保険適用対象外となります。検証修理をご用命の際には、ご購入時の構成に戻したうえでご依頼ください。

増設・交換作業時の注意

作業中の手違いや過失でパーツやパソコン本体が故障してしまった場合は保証対象外となります。自分ではできないと感じたら、無理をせずにお買い上げいただいたドスパラ店舗、またはデジノスサポートセンターまでご相談ください。

※ただし、別途パソコン保険に加入されている商品については作業中の手違いや過失でも保証対象となる場合があります。

SR598M ケースのカバーの開け方

❶ パソコンを背面から見て、向かって右側にあるネジを 2 本外します。

❷ パソコンを背面から見て、向かって右側にあるパネルを背面側へ 1 ～ 2cm スライドさせます。

❸ スライドさせたパネルを外側に外します。

メモリの種類について

現在、市場にあるメモリーは大きく分けて DDR2 SDRAM と DDR3 SDRAM の 2 種類です。

DDR2 と DDR3 のメモリーに互換性はありませんのでご注意ください。また、搭載されている OS・マザーボードによって利用可能なメモリーは異なります。マザーボードのスロット数や搭載可能なメモリーの最大容量を調べたうえで、現在接続されているメモリーと同じ規格・同じ転送速度のメモリーを準備しましょう。参考までに、メモリー名・メモリーバスの表記を記載します。

DDR2 SDRAM

メモリー名	メモリーバスの表記
PC2-3200	DDR2-400
PC2-4300	DDR2-533
PC2-5300	DDR2-667
PC2-6400	DDR2-800
PC2-8500	DDR2-1066

DDR3 SDRAM

メモリー名	メモリーバスの表記
PC3-6400	DDR3-800
PC3-8500	DDR3-1066
PC3-10600	DDR3-1333
PC3-12800	DDR3-1600

メモリーの再大容量について

メモリーの最大容量は、使用する OS のバージョンおよびパソコン本体内にあるマザーボードの最大容量のうち、どちらか少ないほうで決まります。（表をご参照ください）

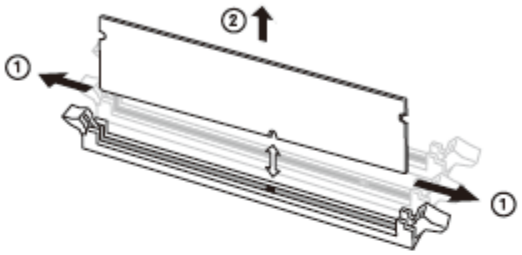
マザーボードの最大容量はマザーボードの種類により異なります。詳細はマザーボードメーカーのウェブサイトをご参照ください。

Windows 7	32bit	各エディション	4GB
	64bit	HomePremium	16GB
		Professional	192GB
		Ultimate	192GB
Windows 8	32bit	各エディション	4GB
	64bi	無印	128GB
		Pro	512GB

メモリーの取り外し方法

❶ メモリースロットの両側にあるクリップを外側へ押し開きます。

❷ メモリーが上に持ち上がってきますので、両端を持ち慎重に引き出します。このとき無理に力を加えないでください。破損の原因となります。

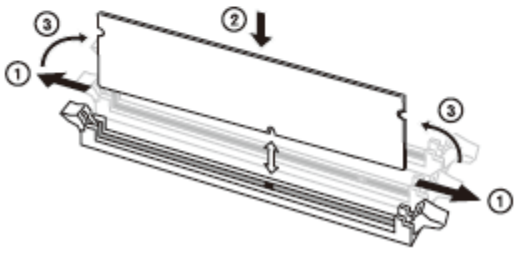


メモリーの取り付け

❶ メモリースロットの両側にあるクリップを開いておきます。

❷ メモリーの切り欠きとメモリースロットの突起の向きを確認し、両端をつまむように持ってコネクタの溝へ差し込み、真上から親指でメモリーを押し込むようにして取り付けます。

❸ クリップをメモリーの両側へはめ込みます。このとき無理に力を加えないでください。破損の原因となります。



⚠ メモリー取り付け時のご注意

正しく接続されていないと、メモリーやマザーボードを破損させ、発火などの事故につながる場合があります。メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

- メモリーを逆向きに接続しないようご注意ください。特に DDR2 SDRAM メモリーや、DDR3 SDRAM メモリーは、メモリーの向きを確認するための切り欠きが 1 ヶ所しかありませんのでご注意ください。
- メモリーをしっかりと接続するには、強く力を入れる必要があります。メモリーの向きをよく確認し、垂直に接続するようにしてください。